

平成26年度入学生対象

平成26年4月1日現在

別記様式1

主 専 攻 プ ロ グ ラ ム 詳 述 書

開設学部（学科）名〔 総合科学部（総合科学科） 〕

プログラムの名称（和文）	総合科学プログラム
（英文）	Integrated Arts and Sciences

1. プログラムの紹介と概要

創設以来、一学科体制を堅持する総合科学部では、学際性、総合性、創造性を基本理念とした「総合科学プログラム」を提供しています。本プログラムが提示する到達目標（後述）を実現するために、以下に示す内容の教育を行います。

- ・ 既存の学問体系を尊重しながら、複数の学問領域で創出された知識や研究法を学ぶと同時に、それぞれの領域が現代の諸問題とどのように関連しているのかを理解できる教育を実施します。
- ・ 複雑で多岐にわたる知識や情報の収集整理と分析統合を通して、それらの持つ新たな意味や価値をみいだす能力を育成する教育を実施します。
- ・ 多角的な視野からの知識に基づき、さまざまな課題を総合的に解決し、自己の責任において判断し、行動できる態度を育成する教育を実施します。
- ・ 日本語と外国語の表現力・理解力および豊かな感性を涵養し、異文化・異領域の人びとに対するコミュニケーションやプレゼンテーションの能力を育成する教育を実施します。

以上の教育内容の実践を目指す本プログラムでは、教養教育と専門教育を連続的かつ一体的に捉えていることに特徴があります。1年次には、教養教育科目とともに、本プログラムの専門教育科目である「総合科学へのいざない」「総合科学概論」を履修し、総合科学的発想のもとで問題の発見と解決に向けた探究の基本姿勢を育みます。学問を体系的に学ぶために、3つの「教育領域（人間探究領域、自然探究領域、社会探究領域）」が、またそれぞれの教育領域内には「授業科目群」が設置されています。教育領域および授業科目群は独立したものではなく、相互に関連する総合科学学術ネットワーク（添付図参照）を構成しています。

学生は2年次に1つの教育領域を選択し、その教育領域内の授業科目群を中心に学習を進め専門性を深めます。同時に、他の教育領域の授業科目も履修することで、学際的・総合的な知識や方法論、視座を修得します。授業科目群選択の自由度は大きく、学際性・総合性に重点を置くこともできれば、専門性に重点を置くこともできます。教育領域内の授業科目群とは別に、「学際科目」および「専門共通科目」があります。学際科目では、自分が学んでいる専門領域がどのような学際的な研究テーマに発展し得るのかを学びます。また、専門共通科目では、実践的外国語運用能力を高めるとともに、科学リテラシーや研究倫理についての理解を深めます。

卒業後は、本プログラムで修得した総合的な知見と思考力をセールス・ポイントに、多様な分野で活躍できる人材として、実社会あるいは大学院へ送り出します。また、本プログラムでは、高等学校教諭一種免許状（地理歴史、公民、数学、理科、外国語（英語）、外国語（中国語））を取得しようとする者にも配慮が施されています。

2. プログラムの開始時期とプログラム選択のための既修得要件（履修科目名及び単位数等）

プログラムは、入学とともに開始されます。総合科学部では、入学試験は文科系科目と理科系科目に分かれています。どちらの科目で入学しようが、入学後の単位の修得および教育領域選択の仕方などに、両者の間に区別は全くありません。

教養教育科目履修にあたっては、自分の学習内容の方向性をみすえた履修計画を立案することを、学生ひとりひとりに強く望みます。

3. プログラムの到達目標と成果

(1) プログラムの到達目標

本プログラムでは、以下のような人材を育成します。

- ・ 複数の学問分野にまたがる学際的な領域や、既存の枠組みを超えた新領域の学問に対する関心を基盤に、現代社会をリードできる人材
- ・ 深い思考と独創的な視点、豊かな想像力を基盤に、新しい学問分野の創造を目指すことのできる人材
- ・ 常に活発な学問的関心を抱き、総合的な視点から新しい状況・環境に対応できる、自主的・自律的な人材
- ・ 異文化・異領域への共感と理解を深めると同時に、自己の見解を説得的に主張することにより、国際社会で活躍できる意欲にあふれた人材

(2) プログラムによる学習の成果 (具体的に身につく知識・技能・態度)

○知識・理解

I-1 各学問領域について、基本的かつ体系的に理解できる

- ・ 各学問領域について、その形成過程・発展過程を理解し、説明できる。

I-2 現代社会の抱える諸問題について、学際的・総合的な知識を蓄積し、理解できる

- ・ 人類や社会が抱える歴史的・現代的課題（社会のしくみと科学の在り方、知の営みの意味、いのちの重み、多様な文化間の交流や対立、自然と共生する意義、情報活用についての社会的課題など）について、多角的な視点から理解し、説明できる。

I-3 学際的・総合的アプローチの持つ特徴について理解できる

- ・ 学際的・総合的なトピックスまたは研究の最前線や社会問題のトピックスについて、複数の視点から理解し、説明できる。

○知的能力・技能

II-1 各学問領域の学術的価値とその背景に関して、理解できる

- ・ 各学問領域が文化・社会とどのように関わっているのかについて理解し、説明できる。

II-2 各学問領域に関する文献資料を批判的・分析的に読むことができる

- ・ 外国語を活用することで、異なる言語や文化を理解できる。

II-3 データを多様な情報源から収集し、それらの持つ意味や価値をみいだすことができる

- ・ 情報を活用するためのモラルと社会的課題について理解し、説明できる。

II-4 課題を解決するために必要な計画を立案することができる

II-5 課題を考察するために、適切な理論・方法論を特定できる

- ・ 各学問領域について、その形成過程・発展過程を理解し、説明できる。

II-6 得られた成果を記述し、報告する方法を工夫できる

- ・ 論拠を明らかにした議論や効果的なプレゼンテーションを行うことができる。

○実践的能力・技能

III-1 課題の解決について展望し、その行程表を提示することができる

III-2 課題に関する文献資料などの情報を計画的・体系的に収集することができる

- ・ 基礎的な方法で資料を収集できる。

III-3 適切な方法でデータを収集し、それらを整理・分析することができる

- ・ 情報に関する基礎的知識・技術・態度を習得し、情報の処理や受発信を適切に行うことができる。

III-4 課題を解決するために立案した計画を点検し、改善することができる

III-5 課題を考察するために採用した理論・方法論を実践することができる

III-6 得られた成果とその到達点を記述し、報告することができる

- ・ 論拠を明らかにした議論と効果的なプレゼンテーションを行うことができる。

○総合的能力・技能

IV-1 問題発見および解決能力

- ・ 特定の事象から課題を発見し、説明できる。
- ・ 人類や社会が抱える歴史的・現代的課題（社会のしくみと科学の在り方、知の営みの意味、いのちの重み、多様な文化間の交流や対立、自然と共生する意義、情報活用についての社会的課題など）について、多角的な視点から理解し、説明できる。

IV-2 研究能力

- ・ 学際的・総合的なトピックスまたは研究の最前線や社会問題のトピックスについて、複数の視点から理解し、説明できる。

IV-3 コミュニケーション能力

- ・ 外国語を活用して、口頭や文書でコミュニケーションを的確に図ることができる。

IV-4 情報収集能力およびプレゼンテーション能力

- ・ 論拠を明らかにした議論と効果的なプレゼンテーションを行うことができる。

IV-5 研究倫理の理解と実践

4. 教育内容・構造と実施体制

(1) 学位の概要 (学位の種類, 必要な単位数)

学士 (総合科学) 128単位

(2) 得られる資格等

高等学校教諭一種免許状 (英語) (数学) (地理歴史) (公民) (理科) (中国語)

(3) プログラムの構造

別紙2を参照。

(4) 特別研究 (卒業論文) (着手の条件, 指導教員の決定方法・時期等)

1) 特別研究の着手の条件

3年次終了時点で、「総合科学へのいざない」及び「総合科学概論」を含む約100単位以上 (教職に関する科目, インターンシップ及び同和教育の授業科目を除く。) を修得している必要があります。

2) 指導教員の決定方法と決定時期

- ・ 指導教員は, 主指導教員と副指導教員からなります。
- ・ 学生は, 原則として自分が選択した教育領域に授業を提供している教員の中から, 主指導教員を選びます。
- ・ 学生は, 指導教員を選択するために, 3年次の7月～10月に興味のある研究室を1つ以上訪問します。
- ・ 学生は, 3年次11月中旬までに, 希望主指導教員を選択し, 教育領域委員会に申請します。指導教員の最終決定は, 12月開催の教育領域委員会で行います。
- ・ 主指導教員に対して, 指導希望学生が指導可能な数を超える場合は, 教育領域委員会で調整を行います。
- ・ 副指導教員は, 主指導教員と相談のうえ決定します。
- ・ 学生が希望する場合は, 3年次の3月までであれば, 指導教員を変更することができます。

3) 特別研究開始時期

- ・ 原則として、指導教員決定後に研究に着手します。
- ・ 学生が希望すれば、3年次の7月以降に仮指導教員を決定し、仮配属として研究に着手することができます。

5. 授業科目及び授業内容

別紙3を参照。

シラバスは、「My もみじ」または広島大学公式ウェブサイト「入学案内」を参照。

6. 教育・学習

(1) 教育方法・学習方法

別紙1を参照。

(2) 学習支援体制

- 1) 教育領域委員会委員、チューターおよび指導教員（主指導教員および副指導教員）が、学習指導に直接あたります。
- 2) チューターは、1年次生には教養ゼミ担当教員が、2・3年次生には各教育領域から選出された教員が、4年次は主指導教員が担当します。
- 3) 学生生活の支援は、総合科学研究科学生支援グループ（事務棟一階）、およびチューターと主指導教員の所属連絡室が主として実施します。

7. 評価（試験・成績評価）

(1) 到達度チェックの仕組み

期末試験、レポート、口頭発表、卒業論文の中間発表会によってチェックし、総合的には、卒業論文や論文の最終発表会の内容によって評価します。

(2) 成績が示す意味

別紙3を参照。

8. プログラムの責任体制と評価

(1) PDCA責任体制（計画(plan)・実施(do)・評価(check)・改善(action)）

- ・ 教育領域委員会を設置し、ここで学士教育の実施・評価を行います。
- ・ 教育領域の総括責任者は、教育領域委員会委員長であり、副委員長がこれを補佐します。
- ・ 教育領域委員長および副委員長が、プログラム実施における責任を負います。
- ・ 教育領域委員会内に履修指導小委員会を設置し、学生からの履修相談およびチューターとの連携を行います。
- ・ 教育領域ごとに領域別履修指導委員会を設け、具体的な履修指導や履修上の調整を行います。
- ・ 評価と改善については、学部長が総責任を担います。
- ・

(2) プログラムの評価

1) プログラム評価の観点

- ・ 授業科目は目的達成のために体系的に適切に配置されているか。
- ・ 授業内容は体系化の中で適切なものであるか。
- ・ 学生は一定基準以上の目標を達成しているといえるか。

2) 評価の実施方法

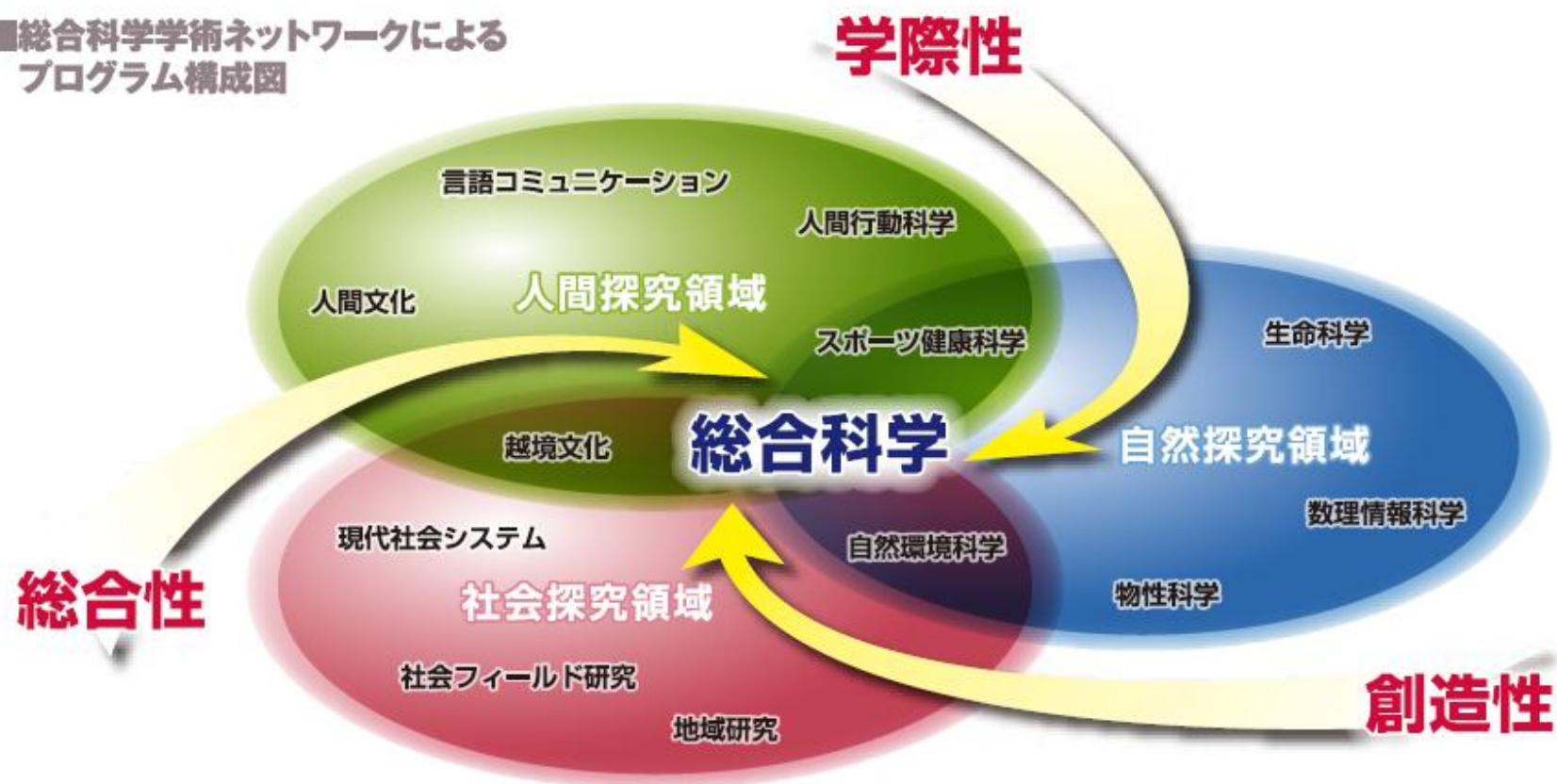
- ・ 各セメスターの最終授業終了後、履修学生にアンケートによる授業評価を行います。

3) 学生へのフィードバックの考え方とその方法

- ・ 個々の授業評価に関しては、教員の意見と評価結果を教育領域内で検討し、改善に努めます。
- ・ プログラム全体の評価に関しては、教育領域委員会、研究科長室および評価委員会が連携して評価を行います。

※ 3. プログラムの到達目標と成果の（2）プログラムによる学習の成果（具体的に身につく知識・技能・態度）では、専門教育における学習の成果を下線部に示しており、これに対応する教養教育の到達目標を各学習の成果（下線部）の下に挙げている。

■総合科学学術ネットワークによる
プログラム構成図



プログラムの教育・学習方法

○ 知識・理解

I. 身につく知識・技能・態度等 <u>I-1 各学問領域について、基本的かつ体系的に理解できる</u> - 各学問領域について、その形成過程・発展過程を理解し、説明できる。 <u>I-2 現代社会の抱える諸問題について、学際的・総合的な知識を蓄積し、理解できる</u> - 人類や社会が抱える歴史的・現代的課題（社会のしくみと科学の在り方、知の営みの意味、いのちの重み、多様な文化間の交流や対立、自然と共生する意義、情報活用についての社会的課題など）について、多角的な視点から理解し、説明できる。 <u>I-3 学際的・総合的アプローチの持つ特徴について理解できる</u> - 学際的・総合的なトピックスまたは研究の最前線や社会問題のトピックスについて、複数の視点から理解し、説明できる。	教育・学習の方法 基本的な知識と理解については、授業科目群における講義、実験・実習、演習などによって学習させる。I-3 については、総合科学への誘い、総合科学概論、学際科目を通して、段階的に育成する。 評価 講義、実験・実習、演習では、試験、レポート、口頭発表によって評価する。
--	---

○ 知的能力・技能

II. 身につく知識・技能・態度等 <u>II-1 各学問領域の学術的価値とその背景に関して、理解できる</u> - 各学問領域が文化・社会とどのように関わっているのかについて理解し、説明できる。 <u>II-2 各学問領域に関する文献資料を批判的・分析的に読むことができる</u> - 外国語を活用することで、異なる言語や文化を理解できる。 <u>II-3 データを多様な情報源から収集し、それらの持つ意味や価値をみいだすことができる</u> - 情報を活用するためのモラルと社会的課題について理解し、説明できる。 <u>II-4 課題を解決するために、適切な計画を立案することができる</u> <u>II-5 課題を考察するために、適切な理論・方法論を特定できる</u> - 各学問領域について、その形成過程・発展過程を理解し、説明できる。 <u>II-6 得られた成果を記述し、報告する方法を工夫できる</u> - 論拠を明らかにした議論や効果的なプレゼンテーションを行うことができる。	教育・学習の方法 知的能力・技能（II-1～6）は、授業科目群における講義、実験・実習、演習などによって学習させる。II-2 の学習を促進するために、専門共通科目を通して、外国語運用能力を強化する。学生自ら課題を設定し、学際的・総合的な解決への道筋を探る能力・技能は、総合科学への誘い、総合科学概論、学際科目を通して、段階的に育成する。 評価 講義、実験・実習、演習では、試験、レポート、口頭発表によって評価する。
--	---

○ 実践的能力・技能

III. 身につく知識・技能・態度等
<u>III-1 課題の解決について展望し、その行程表を提示することができる</u>
<u>III-2 課題に関する文献資料などの情報を計画的・体系的に収集することができる</u> ・ 基礎的な方法で資料を収集できる。
<u>III-3 適切な方法でデータを収集し、それらを整理・分析することができる</u> ・ 情報に関する基礎的知識・技術・態度を習得し、情報の処理や受発信を適切に行うことができる。
<u>III-4 課題を解決するために立案した計画を点検し、改善することができる</u>
<u>III-5 課題を考察するために採用した理論・方法論を実践することができる</u>
<u>III-6 得られた成果とその到達点を記述し、報告することができる</u> ・ 論拠を明らかにした議論と効果的なプレゼンテーションを行うことができる。

教育・学習の方法

実践的能力・技能（III-1～6）については、授業科目群における講義を通じた基礎的学習を踏まえ、実験・実習、演習などの実践的な授業科目により、一層理解を深めさせる。学生自らが課題を設定し、学際的・総合的な解決への道筋を探るための能力・技能は、総合科学への誘い、総合科学概論、学際科目を通して、段階的に育成する。

評価

講義、実験・実習、演習などは、試験、レポート、口頭発表により評価する。

○ 総合的能力・技能

IV. 身につく知識・技能・態度等 <u>IV-1 問題発見および解決能力</u> ・ 特定の事象から課題を発見し，説明できる。 ・ 人類や社会が抱える歴史的・現代的課題（社会のしくみと科学の在り方，知の営みの意味，いのちの重み，多様な文化間の交流や対立，自然と共生する意義，情報活用についての社会的課題など）について，多角的な視点から理解し，説明できる。 <u>IV-2 研究能力</u> ・ 学際的・総合的なトピックスまたは研究の最前線や社会問題のトピックスについて，複数の視点から理解し，説明できる。 <u>IV-3 コミュニケーション能力</u> ・ 外国語を活用して，口頭や文書でコミュニケーションを的確に図ることができる。 <u>IV-4 情報収集能力およびプレゼンテーション能力</u> ・ 論拠を明らかにした議論や効果的なプレゼンテーションを行うことができる。 <u>IV-5 研究倫理の理解と実践</u>	教育・学習の方法 総合的能力・技能（IV-1～5）については，総合科学への誘い，総合科学概論などを通じて基礎的な能力を養い，プログラムが提供する授業全体を通じて，学際性・総合性を深める。また，3については，専門共通科目によって，重点的に学習させる。特別研究では，個別指導を通して，さらにこれらの能力・技能を高める。 評価 講義，実験・実習，演習などは，試験，レポート，口頭発表によりに評価する。総合的な評価には，GPA も活用する。また，特別研究では，論文や発表の方法と内容について，指導教員を含む複数の教員が評価する。
---	--

※ 具体的に身につく知識・技能・態度等では，専門教育における学習の成果を下線部に示しており，これに対応する教養教育の到達目標を各学習の成果（下線部）の下に挙げている。

主専攻プログラム モデル体系図

総合科学部 総合科学プログラム

別紙2

(専門教育における) 学習の成果		教養教育 到達目標	1年		2年		3年		4年	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
知識・理解	I-1 各学問領域について、基本的かつ体系的に理解できる	各学問領域について、その形成過程・発展過程を理解し、説明できる。	領域科目(△)	領域科目(△)						
	I-2 現代社会の抱える諸問題について、学際的・総合的な知識を蓄積し、理解できる	人類や社会が抱える歴史的・現代的課題(社会のしくみと科学の在り方、知の営みの意味、いのちの重み、多様な文化間の交流や対立、自然と共生する意義、情報活用についての社会的課題など)について、多角的な視点から理解し、説明できる。		パッケージ別科目(○)	パッケージ別科目(○)					
	I-3 学際的・総合的アプローチの持つ特徴について理解できる	特定の学際的・総合的なトピックスまたは研究の最前線や社会問題のトピックスについて、複数の視点から理解し、説明できる。			総合科目(○)					
		多角的な視点から、平和について理解・考察することができ、自分の意見を述べることができる。	平和科目(○)							
知的能力・技能	II-1 各学問領域の学術的価値とその背景に関して、理解できる	各学問領域が文化・社会とどのように関わっているのかについて理解し、説明できる。	領域科目(△)	領域科目(△)						
	II-2 各学問領域に関する文献資料を批判的・分析的に読むことができる	外国語を活用することで、異なる言語や文化を理解できる。	コミュニケーションⅠ(○) ベーシック外国語Ⅰ(○)	コミュニケーションⅡ(○) ベーシック外国語Ⅱ(○)	コミュニケーションⅢ(○)	コミュニケーションⅢ(○)				
	II-3 データを多様な情報源から収集し、それらの持つ意味や価値をみいだすことができる	情報を活用するためのモラルと社会的課題について理解し、説明できる。	情報科目(○)							
	II-4 課題を解決するために、適切な計画を立案することができる									
	II-5 課題を考察するために、適切な理論・方法論を特定できる	各学問領域について、その形成過程・発展過程を理解し、説明できる。	領域科目(△)	領域科目(△)						
	II-6 得られた成果を記述し、報告する方法を工夫できる	論拠を明らかにした議論や効果的なプレゼンテーションを行うことができる。	教養ゼミ(◎)							

実践的能力・技能	Ⅲ－１ 課題の解決に至る展望を行い、その行程表を提示することができる										
	Ⅲ－２ 課題に関する文献資料などの情報を計画的・体系的に収集することができる	基礎的な方法で資料を収集できる。	教養ゼミ(◎)								
	Ⅲ－３ 適切な方法でデータを収集し、それらを整理・分析できる	情報に関する基礎的知識・技術・態度を学び、情報の処理や受発信を適切に行うことができる。	情報科目(○) 教養ゼミ(◎)								
	Ⅲ－４ 課題を解決するために立案した研究計画を点検し、改善することができる										
	Ⅲ－５ 課題を考察するために採用した理論・方法論を実践することができる										
	Ⅲ－６ 得られた成果とその到達点を記述し、報告することができる	論拠を明らかにした議論や効果的なプレゼンテーションを行うことができる。	教養ゼミ(◎)								

総合的 能力・ 技能	Ⅳ－１ 問題発見および解決能力	特定の事象から課題を発見し，説明できる。 人類や社会が抱える歴史的・現代的課題（社会のしくみと科学の在り方，知の営みの意味，いのちの重み，多様な文化間の交流や対立，自然と共生する意義，情報活用についての社会的課題など）について，多角的な視点から理解し，説明できる。	教養ゼミ（◎）	パッケージ別科目（○）	パッケージ別科目（○）			学際科目（○）	特別研究（◎）	特別研究（◎）
	Ⅳ－２ 研究能力	特定の学際的・総合的なトピックスまたは研究の最前線や社会問題のトピックスについて，複数の視点から理解し，説明できる。			総合科目（○）					
	Ⅳ－３ コミュニケーション能力	外国語を活用して，口頭や文書で日常的なコミュニケーションを図ることができる。	コミュニケーションⅠ（○）	コミュニケーションⅡ（○）	コミュニケーションⅢ（○）	コミュニケーションⅢ（○）				
			ベーシック外国語Ⅰ（○）	ベーシック外国語Ⅱ（○）						
	Ⅳ－４ 情報収集能力およびプレゼンテーション能力	論拠を明らかにした議論や効果的なプレゼンテーションを行うことができる。	教養ゼミ（◎）							
	Ⅳ－５ 研究倫理の理解と実践									

（例）教養科目 専門基礎 専門科目 卒業論文 （◎）必修科目 （○）選択必修科目 （△）選択科目
各授業科目の位置づけは，別紙3を参照

教育領域	授業科目群	授 業 科 目	開設 単位	開設 期	評価項目													
		総合科学へのいざない	2	1	I－3													
		総合科学概論	2	2	I－3													
人間探究	人間文化	人間文化基礎論	2	3	I－1	Ⅱ－1												
人間探究	人間文化	美術史	2	3	I－1	I－2	Ⅱ－1											
人間探究	人間文化	芸術文化論	2	3	I－2	Ⅱ－1												
人間探究	人間文化	現代思想	2	3	I－2	Ⅱ－1	Ⅲ－5	Ⅳ－1										
人間探究	人間文化	美学芸術学入門	2	3	I－1	Ⅱ－2												
人間探究	人間文化	芸術社会論	2	3	I－2	Ⅱ－6												
人間探究	人間文化	比較文明論	2	4	I－3	Ⅱ－2	Ⅲ－5	Ⅳ－3										
人間探究	人間文化	生命倫理学	2	4	I－2	Ⅱ－1												
人間探究	人間文化	比較哲学A	2	4	I－2	Ⅱ－1	Ⅲ－5	Ⅳ－1										
人間探究	人間文化	芸術文化論演習	2	4	Ⅱ－2	Ⅳ－2												
人間探究	人間文化	人間文化特論	2	4	I－2	Ⅱ－2												
人間探究	人間文化	比較文明論演習	2	5	I－3	Ⅱ－2	Ⅲ－3	Ⅳ－4										
人間探究	人間文化	美術史演習	2	5	Ⅱ－2	Ⅱ－5	Ⅲ－5	Ⅳ－2										
人間探究	人間文化	生命倫理学演習	2	5	Ⅱ－6	Ⅲ－2	Ⅳ－1	Ⅳ－4										
人間探究	人間文化	文化創造論	2	5	I－1	Ⅱ－2												
人間探究	人間文化	比較哲学B	2	5	I－2	Ⅱ－2	Ⅲ－5	Ⅳ－1										
人間探究	人間文化	現代思想演習	2	5	Ⅱ－2	Ⅲ－6	Ⅳ－4											
人間探究	人間文化	ギリシア哲学	2	5	I－1	Ⅱ－1												
人間探究	人間文化	西洋美術史	2	5	I－1	I－2	Ⅱ－1											
人間探究	人間文化	表象文化論演習	2	6	Ⅱ－3	Ⅲ－2	Ⅳ－4											
人間探究	人間文化	美学芸術学演習	2	6	Ⅱ－2	Ⅲ－5	Ⅲ－6	Ⅳ－1										
人間探究	人間文化	比較哲学演習	2	6	Ⅱ－2	Ⅲ－6	Ⅳ－4											
人間探究	人間文化	ギリシア哲学演習	2	6	I－1	Ⅱ－1												
人間探究	人間文化	西洋美術史演習	2	6	Ⅱ－2	Ⅲ－5	Ⅲ－6	Ⅳ－2	Ⅳ－4									
人間探究	人間文化	現代文化論演習	2	6	Ⅲ－2	Ⅳ－1												
人間探究	人間文化	比較思想	2	3	I－1	Ⅱ－1												
人間探究	人間文化	比較思想演習	2	4	Ⅱ－2	Ⅳ－1												
人間探究	言語コミュ	心理言語学	2	3	I－3	Ⅱ－3	Ⅲ－3											
人間探究	言語コミュ	言語学入門	2	3	Ⅲ－5													
人間探究	言語コミュ	英語コーパス言語学	2	3	Ⅱ－3	Ⅲ－3												
人間探究	言語コミュ	現代英語語法演習	2	3	Ⅱ－3	Ⅲ－3												
人間探究	言語コミュ	統語論	2	3	I－1	Ⅱ－3	Ⅲ－3											
人間探究	言語コミュ	意味論	2	4	I－1	I－2	Ⅲ－3											
人間探究	言語コミュ	実験心理言語学	2	4	I－3	Ⅱ－3	Ⅲ－3											
人間探究	言語コミュ	異文化コミュニケーション論入門	2	4	I－3	Ⅱ－2	Ⅱ－3											
人間探究	言語コミュ	意味論入門	2	4	I－1	I－2	I－3											
人間探究	言語コミュ	英語の歴史	2	4	Ⅱ－1	Ⅱ－3												
人間探究	言語コミュ	英語ディベート演習	2	4	Ⅳ－1	Ⅳ－3	Ⅳ－4											
人間探究	言語コミュ	現代フランス語学研究	2	4	I－1	Ⅳ－3												
人間探究	言語コミュ	現代中国語学研究	2	4	I－1	Ⅱ－1	Ⅲ－5	Ⅳ－3										
人間探究	言語コミュ	現代ドイツ語学研究	2	4	I－1	Ⅱ－3	Ⅳ－2											
人間探究	言語コミュ	認知言語学	2	5	I－1	I－2	Ⅱ－1											
人間探究	言語コミュ	語用論	2	5	Ⅱ－1	Ⅲ－5												
人間探究	言語コミュ	英日同時通訳法演習Ⅰ	2	5	Ⅳ－3													
人間探究	言語コミュ	ロマンス語研究Ⅰ	2	5	Ⅳ－3													
人間探究	言語コミュ	語彙論	2	5	I－2	Ⅱ－6	Ⅲ－3	Ⅳ－4										
人間探究	言語コミュ	言語文化特論	2	5	Ⅲ－3	Ⅳ－3												
人間探究	言語コミュ	第二言語習得論	2	6	I－1	Ⅱ－2	Ⅲ－2											
人間探究	言語コミュ	音声学・音韻論	2	6	Ⅲ－5													
人間探究	言語コミュ	英日同時通訳法演習Ⅱ	2	6	Ⅳ－3													
人間探究	言語コミュ	対照言語学演習A	2	6	I－1	Ⅱ－4	Ⅲ－6											
人間探究	言語コミュ	現代フランス語学研究演習	2	6	I－1	Ⅱ－2												
人間探究	言語コミュ	対照言語学演習B	2	6	Ⅱ－2	Ⅲ－3												
人間探究	言語コミュ	ロマンス語研究Ⅱ	2	6	Ⅳ－3													

[illegible]

教育領域	授業科目群	授 業 科 目	開設 単位	開設 期	評価項目															
					Ⅲ－５	Ⅲ－６														
自然探究	生命科学	生命科学実験B	1	4	Ⅲ－５	Ⅲ－６														
自然探究	生命科学	生命科学実験法B	1	4	Ⅲ－５	Ⅲ－６														
自然探究	生命科学	脳機能学	2	5	I－１															
自然探究	生命科学	分子発生生物学	2	5	I－１															
自然探究	生命科学	分子細胞生物学	2	5	Ⅱ－６	Ⅳ－５														
自然探究	生命科学	神経行動学	2	5	I－１															
自然探究	生命科学	生命科学実験C	1	5	Ⅲ－５	Ⅲ－６	Ⅳ－５													
自然探究	生命科学	生命科学実験法C	1	5	Ⅲ－５	Ⅲ－６	Ⅳ－５													
自然探究	生命科学	生命科学実験D	1	5	Ⅲ－５	Ⅲ－６	Ⅳ－５													
自然探究	生命科学	生命科学実験法D	1	5	Ⅲ－５	Ⅲ－６	Ⅳ－５													
自然探究	生命科学	生命科学特論A	1	5	I－１															
自然探究	生命科学	生命科学特論C	1	5	I－１															
自然探究	生命科学	臨海実習・同講義	2	5	Ⅲ－５	Ⅲ－６														
自然探究	生命科学	生命科学特論B	1	6	I－１															
自然探究	生命科学	生命科学特論D	1	6	I－１															
自然探究	数理情報	データ解析序説	2	3	I－１	Ⅱ－３	Ⅲ－３													
自然探究	数理情報	コンピュータ基礎論	2	3	I－１	Ⅱ－３	Ⅳ－１													
自然探究	数理情報	数理科学演習	2	3	I－１	Ⅱ－５	Ⅲ－５	Ⅳ－１												
自然探究	数理情報	プログラム技法	2	3	I－１	Ⅲ－１	Ⅲ－４	Ⅳ－１												
自然探究	数理情報	計算機基礎演習	2	3	I－１	Ⅱ－４	Ⅲ－６													
自然探究	数理情報	微分方程式	2	3	I－１	Ⅱ－５	Ⅲ－５	Ⅳ－１												
自然探究	数理情報	メディア活用演習	2	4	Ⅱ－５	Ⅲ－５	Ⅳ－４	Ⅳ－５												
自然探究	数理情報	応用数理	2	4	I－１	Ⅱ－５	Ⅲ－５													
自然探究	数理情報	情報統計学	2	4	I－１	Ⅱ－３	Ⅲ－３													
自然探究	数理情報	プログラム言語論	2	4	I－２	Ⅱ－１	Ⅱ－３													
自然探究	数理情報	計算機演習	2	4	Ⅱ－５	Ⅲ－３	Ⅲ－５													
自然探究	数理情報	複素解析	2	4	I－１	I－２	Ⅱ－３	Ⅱ－６	Ⅲ－３	Ⅳ－１										
自然探究	数理情報	コンピュータシステム	2	4	I－１	Ⅱ－４	Ⅳ－１													
自然探究	数理情報	グラフの幾何学	2	4	I－１	Ⅱ－１	Ⅲ－２													
自然探究	数理情報	情報理論	2	5	I－１	Ⅱ－６	Ⅲ－５													
自然探究	数理情報	数理代数	2	5	I－１	Ⅱ－５	Ⅲ－５													
自然探究	数理情報	数理幾何	2	5	I－１	Ⅱ－１	Ⅲ－５	Ⅳ－１												
自然探究	数理情報	応用統計学	2	5	I－１	Ⅱ－５	Ⅲ－３	Ⅲ－４												
自然探究	数理情報	確率過程論	2	5	I－１	Ⅱ－５	Ⅲ－５	Ⅳ－１												
自然探究	数理情報	計算数学	2	4	I－１	Ⅱ－６	Ⅲ－３	Ⅳ－１												
自然探究	数理情報	情報数理学特講Ⅰ	2	5	I－１	Ⅱ－２														
自然探究	数理情報	数理解析	2	6	I－１	Ⅱ－５	Ⅲ－６													
自然探究	数理情報	情報数理学特講Ⅱ	2	6	I－１	Ⅱ－２														
自然探究	物性科学	熱力学	2	3	I－１															
自然探究	物性科学	電磁気学Ⅰ	2	3	I－１															
自然探究	物性科学	物理科学演習Ⅰ	2	3	Ⅱ－５															
自然探究	物性科学	物理学基礎実験	1	3	Ⅲ－３															
自然探究	物性科学	物理学基礎実験法	1	3	Ⅱ－３															
自然探究	物性科学	物理科学概論	2	3	Ⅱ－１															
自然探究	物性科学	電磁気学Ⅱ	2	4	I－１															
自然探究	物性科学	物理科学演習Ⅱ	2	4	Ⅱ－５															
自然探究	物性科学	量子力学Ⅰ	2	4	I－１															
自然探究	物性科学	物質科学実験A	1	4	Ⅲ－３	Ⅲ－６	Ⅳ－５													
自然探究	物性科学	物質科学実験法A	1	4	Ⅱ－３	Ⅱ－６	Ⅳ－５													
自然探究	物性科学	物質科学実験B	1	4	Ⅲ－３	Ⅲ－６	Ⅳ－５													
自然探究	物性科学	物質科学実験法B	1	4	Ⅱ－３	Ⅱ－６	Ⅳ－５													
自然探究	物性科学	統計力学Ⅰ	2	5	I－１															
自然探究	物性科学	物理化学	2	5	I－１															
自然探究	物性科学	量子力学演習Ⅰ	2	5	Ⅱ－６															
自然探究	物性科学	量子力学Ⅱ	2	5	I－１															
自然探究	物性科学	物質科学実験C	1	5	Ⅲ－３	Ⅲ－６	Ⅳ－５													
自然探究	物性科学	物質科学実験法C	1	5	Ⅱ－３	Ⅱ－６	Ⅳ－５													
自然探究	物性科学	物質科学実験D	1	5	Ⅲ－３	Ⅲ－６	Ⅳ－５													
自然探究	物性科学	物質科学実験法D	1	5	Ⅱ－３	Ⅱ－６	Ⅳ－５													

教育領域	授業科目群	授 業 科 目	開設 単位	開設 期	評価項目													
自然探究	物性科学	物理学科学特論A	1	5	Ⅱ－1													
自然探究	物性科学	物理学科学特論B	1	5	Ⅱ－1													
自然探究	物性科学	統計力学Ⅱ	2	6	Ⅰ－1													
自然探究	物性科学	物性物理学Ⅰ	2	6	Ⅰ－1													
自然探究	物性科学	量子力学演習Ⅱ	2	6	Ⅱ－5													
自然探究	物性科学	物理学科学特論C	1	6	Ⅱ－1													
自然探究	物性科学	物理学科学特論D	1	6	Ⅱ－1													
自然探究	物性科学	複雑液体・ソフトマター論	2	7	Ⅱ－1													
自然探究	物性科学	物性物理学Ⅱ	2	7	Ⅰ－1													
自然探究	物性科学	量子情報論	2	7	Ⅱ－1													
自然探究	自然環境	環境とエコロジー	2	3	Ⅰ－1	Ⅱ－1												
自然探究	自然環境	環境分析化学	2	3	Ⅰ－1	Ⅱ－2	Ⅱ－3	Ⅲ－3										
自然探究	自然環境	環境地質学	2	3	Ⅰ－1	Ⅰ－2	Ⅱ－4											
自然探究	自然環境	根圏の科学	2	3	Ⅰ－1	Ⅱ－1												
自然探究	自然環境	自然環境航海実習	1	3	Ⅲ－3	Ⅲ－5	Ⅲ－6	Ⅳ－5										
自然探究	自然環境	保全生物学	2	3	Ⅰ－1	Ⅰ－2	Ⅱ－1											
自然探究	自然環境	自然環境野外実習	1	3	Ⅲ－3	Ⅲ－5	Ⅲ－6	Ⅳ－5										
自然探究	自然環境	進化遺伝学	2	4	Ⅰ－1	Ⅰ－2	Ⅱ－1	Ⅱ－2	Ⅲ－2	Ⅳ－1	Ⅳ－2							
自然探究	自然環境	地学基礎実験	1	4	Ⅲ－3	Ⅲ－5	Ⅲ－6											
自然探究	自然環境	地学基礎実験法	1	4	Ⅲ－3	Ⅲ－5	Ⅲ－6											
自然探究	自然環境	多様性生態学	2	4	Ⅱ－1	Ⅱ－2	Ⅱ－3	Ⅱ－5										
自然探究	自然環境	地球環境変動論	2	4	Ⅰ－1	Ⅰ－3	Ⅱ－3	Ⅲ－1										
自然探究	自然環境	植物環境生理学	2	4	Ⅰ－1	Ⅰ－2	Ⅱ－5											
自然探究	自然環境	地球環境化学	2	4	Ⅰ－1	Ⅱ－1												
自然探究	自然環境	大気科学	2	4	Ⅰ－1													
自然探究	自然環境	自然環境実験A	1	4	Ⅲ－3	Ⅲ－5	Ⅲ－6	Ⅳ－5										
自然探究	自然環境	自然環境実験法A	1	4	Ⅲ－3－	Ⅲ－5	Ⅲ－6	Ⅳ－5										
自然探究	自然環境	生物学基礎実験	1	3	Ⅲ－3	Ⅲ－6	Ⅳ－5											
自然探究	自然環境	生物学基礎実験法	1	3	Ⅱ－1	Ⅲ－5	Ⅳ－5											
自然探究	自然環境	砂防学	2	5	Ⅰ－2	Ⅱ－3	Ⅲ－5											
自然探究	自然環境	環境微生物学	2	5	Ⅰ－1	Ⅱ－5												
自然探究	自然環境	水循環論	2	5	Ⅰ－1	Ⅱ－1	Ⅱ－5	Ⅲ－1										
自然探究	自然環境	第四紀環境学	2	5	Ⅰ－1	Ⅰ－2	Ⅱ－1	Ⅱ－5										
自然探究	自然環境	自然環境実験B	1	5	Ⅲ－3	Ⅲ－5	Ⅲ－6	Ⅳ－5										
自然探究	自然環境	自然環境実験法B	1	5	Ⅲ－3	Ⅲ－5	Ⅲ－6	Ⅳ－5										
自然探究	自然環境	環境影響評価論	2	5	Ⅰ－1	Ⅲ－5												
自然探究	自然環境	景観生態学	2	5	Ⅰ－2	Ⅱ－3	Ⅲ－3											
自然探究	自然環境	地球資源論	2	5	Ⅰ－1													
自然探究	自然環境	自然環境実験C	1	5	Ⅲ－3	Ⅲ－5	Ⅲ－6	Ⅳ－5										
自然探究	自然環境	自然環境実験法C	1	5	Ⅲ－3	Ⅲ－5	Ⅲ－6	Ⅳ－5										
自然探究	自然環境	自然環境演習	2	6	Ⅰ－2	Ⅱ－1	Ⅲ－3	Ⅲ－6										
自然探究	自然環境	環境科学特論	2	6	Ⅰ－1	Ⅱ－1												
自然探究	自然環境	環境コロイド学	2	5	Ⅰ－1	Ⅱ－1												
社会探究	地域研究	中国伝統文化論	2	3	Ⅰ－2	Ⅱ－2												
社会探究	地域研究	ヨーロッパ哲学思想研究	2	3	Ⅰ－2	Ⅱ－2												
社会探究	地域研究	日本文化史	2	3	Ⅰ－2	Ⅱ－2												
社会探究	地域研究	東アジア地域史	2	3	Ⅰ－2	Ⅱ－2												
社会探究	地域研究	地域を科学するA	2	3	Ⅰ－1													
社会探究	地域研究	地域を科学するB	2	3	Ⅰ－1													
社会探究	地域研究	日本地域研究特論	2	3	Ⅰ－2	Ⅱ－2												
社会探究	地域研究	地域文化研究特論A	2	3	Ⅰ－2	Ⅱ－2												
社会探究	地域研究	地域文化研究特論B	2	3	Ⅰ－2	Ⅱ－2												
社会探究	地域研究	ドイツ文化論	2	4	Ⅰ－2	Ⅱ－2												
社会探究	地域研究	朝鮮文化論	2	4	Ⅰ－2	Ⅱ－2												
社会探究	地域研究	イギリス社会思想研究	2	4	Ⅰ－2	Ⅱ－2												
社会探究	地域研究	アメリカ文化研究	2	3	Ⅰ－1	Ⅱ－1												
社会探究	地域研究	近代日本文化研究	2	4	Ⅰ－2	Ⅱ－2												
社会探究	地域研究	現代中国文化論	2	4	Ⅰ－2	Ⅱ－2												
社会探究	地域研究	東アジア社会文化史	2	4	Ⅰ－2	Ⅱ－2	Ⅲ－3											
社会探究	地域研究	ヨーロッパ史研究	2	4	Ⅰ－2													

教育領域	授業科目群	授 業 科 目	開設 単位	開設 期	評価項目													
社会探究	地域研究	アメリカ社会研究	2	4	I－2	II－2												
社会探究	地域研究	ドイツ文化論演習	2	5	II－2	III-2												
社会探究	地域研究	朝鮮文化論演習	2	5	II－2	III-2												
社会探究	地域研究	現代ドイツ事情	2	5	II－2	III-2	IV－3	IV－4										
社会探究	地域研究	イギリス社会思想研究演習	2	5	II－2	III－2												
社会探究	地域研究	アメリカ文化研究演習	2	4	I－2	II－1												
社会探究	地域研究	現代中国文化論演習	2	5	II－2	III－2												
社会探究	地域研究	東アジア社会文化史演習	2	5	I－2	II－2	III－2											
社会探究	地域研究	ヨーロッパ史研究演習	2	5	II－2													
社会探究	地域研究	アメリカ社会研究演習	2	5	II－2	III－2												
社会探究	地域研究	近代日本文化研究演習	2	5	II－2	III－2												
社会探究	地域研究	フランス文明論	2	6	I－2	III－2												
社会探究	地域研究	中国伝統文化論演習	2	6	II－2	III－2												
社会探究	地域研究	ヨーロッパ哲学思想研究演習	2	6	I－2	II－2												
社会探究	地域研究	日本文化史演習	2	6	II－2	III－2												
社会探究	地域研究	東アジア地域史演習	2	6	II－2	III－2												
社会探究	越境文化	テキスト文化論	2	3	I－2	II－1												
社会探究	越境文化	ジェンダー学基礎	2	3	IV－3													
社会探究	越境文化	聖書学	2	3	I－1	II－1												
社会探究	越境文化	欧米大陸間文化研究	2	3	I－1	II－1												
社会探究	越境文化	教育と権力の社会学	2	3	I－3	II－1	IV－4											
社会探究	越境文化	英米文学研究	2	4	I－1	II－1												
社会探究	越境文化	比較文化論演習	2	4	I－1	II－1												
社会探究	越境文化	都市文化論	2	4	I－1	II－1												
社会探究	越境文化	都市社会史	2	4	I－2	II－1												
社会探究	越境文化	文化論研究	2	4	I－1	II－1												
社会探究	越境文化	ジェンダーと文化	2	4	II－2													
社会探究	越境文化	開発政策科学分析演習	2	4	I－1	II－6	III－6	IV－4										
社会探究	越境文化	英米文学演習	2	5	II－2	III－2												
社会探究	越境文化	比較文学研究	2	5	I－1	II－1												
社会探究	越境文化	都市文化論演習	2	5	I－1	II－1												
社会探究	越境文化	都市社会史演習	2	5	I－3	II－2												
社会探究	越境文化	文化論研究演習	2	5	I－2	II－2												
社会探究	越境文化	文書管理演習	2	6	I－3													
社会探究	越境文化	移動と統合の社会学	2	6	I－3	II－1	IV－4											
社会探究	越境文化	南北アメリカ社会文化研究演習	2	6	I－2	II－2												
社会探究	越境文化	聖書学演習	2	6	II－2	II－4												
社会探究	越境文化	越境文化研究特論	2	3	I－2													
社会探究	現代社会	比較技術史	2	3	I－1	I－3												
社会探究	現代社会	現代産業論	2	4	I－1	II－1												
社会探究	現代社会	宗教政治社会論	2	3	I－1	I－2	II－1											
社会探究	現代社会	社会環境特論A	2	3	I－1	I－2	II－1											
社会探究	現代社会	ボランティア社会学	2	4	I－2	I－3	II－3	II－4	IV－1	IV－4								
社会探究	現代社会	福祉社会学	2	4	I－1													
社会探究	現代社会	世界開発論	2	4	I－2	II－3	III－3	IV－1										
社会探究	現代社会	社会学方法論	2	4	I－1	I－2	II－1	II－2	IV－1	IV－4								
社会探究	現代社会	地域社会学	2	4	I－1	II－2												
社会探究	現代社会	動態社会学	2	4	I－1	II－1	III－1	IV－1										
社会探究	現代社会	国際法特講	2	4	I－1	II－1												
社会探究	現代社会	現代法政策論	2	4	I－1	I－2												
社会探究	現代社会	社会環境特論B	2	4	I－1	I－2	II－1											
社会探究	現代社会	平和学	2	4	I－2	II－1	III－1	IV－1										
社会探究	現代社会	メディア・スタディーズ	2	5	I－1	II－2	III－2	IV－2										
社会探究	現代社会	サイエンス・スタディーズ演習	2	5	I－2	I－3	II－1	II－2	III－2	IV－4								
社会探究	現代社会	福祉社会学演習	2	5	II－1	II－2												
社会探究	現代社会	現代技術論演習	2	5	I－2	I－3	II－1	II－2	IV－1	IV－2	IV－3	IV－4						
社会探究	現代社会	世界開発論演習	2	5	I－3	II－2	III－2	IV－4										

教育領域	授業科目群	授 業 科 目	開設 単位	開設 期	評価項目												
社会探究	現代社会	社会調査演習Ⅰ	2	5	Ⅱ－2	Ⅱ－3	Ⅱ－4										
社会探究	現代社会	現代産業論演習	2	5	Ⅰ－1	Ⅱ－2	Ⅱ－4										
社会探究	現代社会	社会学方法論演習	2	5	Ⅰ－2	Ⅱ－1	Ⅱ－2	Ⅳ－1	Ⅳ－3	Ⅳ－4							
社会探究	現代社会	地域社会学演習	2	5	Ⅱ－2	Ⅳ－1											
社会探究	現代社会	動態社会学演習	2	5	Ⅰ－1	Ⅱ－2	Ⅲ－2	Ⅳ－2									
社会探究	現代社会	国際法特講演習	2	5	Ⅱ－1	Ⅱ－2											
社会探究	現代社会	現代法政策論演習	2	5	Ⅱ－1	Ⅱ－2											
社会探究	現代社会	社会調査演習Ⅱ	2	6	Ⅲ－2	Ⅱ－3	Ⅲ－6										
社会探究	現代社会	宗教政治社会論演習	2	6	Ⅰ－2	Ⅱ－1	Ⅱ－2	Ⅲ－1	Ⅲ－6	Ⅳ－4							
社会探究	現代社会	社会調査データ分析の基礎	2	4	Ⅰ－1	Ⅱ－3	Ⅲ－3										
社会探究	現代社会	調査データで読む現代社会	2	3	Ⅰ－1	Ⅱ－1	Ⅲ－3	Ⅳ－1									
社会探究	社会フィールド	移動の人類学	2	3	Ⅰ－1	Ⅱ－1	Ⅳ－1										
社会探究	社会フィールド	観光論	2	3	Ⅰ－1	Ⅰ－3											
社会探究	社会フィールド	解釈人類学	2	3	Ⅰ－1	Ⅱ－2	Ⅳ－1										
社会探究	社会フィールド	社会生態人類学	2	3	Ⅰ－1	Ⅱ－2	Ⅳ－1										
社会探究	社会フィールド	ヨーロッパ環境地誌	2	3	Ⅰ－1	Ⅱ－3											
社会探究	社会フィールド	移動の人類学演習	2	4	Ⅱ－2	Ⅲ－3	Ⅳ－4										
社会探究	社会フィールド	宗教社会人類学	2	4	Ⅰ－1	Ⅱ－2	Ⅳ－1										
社会探究	社会フィールド	環境と平和論	2	4	Ⅰ－1	Ⅱ－1											
社会探究	社会フィールド	日本環境地誌	2	4	Ⅰ－2	Ⅱ－1	Ⅳ－1										
社会探究	社会フィールド	民族誌を読む	2	4	Ⅰ－1	Ⅱ－2	Ⅳ－1										
社会探究	社会フィールド	宗教社会人類学演習	2	5	Ⅱ－2	Ⅲ－3	Ⅳ－4										
社会探究	社会フィールド	日本地誌研究演習	2	5	Ⅱ－3	Ⅲ－4	Ⅳ－4										
社会探究	社会フィールド	環境と平和論演習	2	5	Ⅱ－1	Ⅱ－2											
社会探究	社会フィールド	地域調査演習Ⅰ	2	5	Ⅱ－5	Ⅲ－3	Ⅳ－4										
社会探究	社会フィールド	地域調査演習Ⅱ	2	6	Ⅱ－5	Ⅲ－3	Ⅳ－4										
社会探究	社会フィールド	解釈人類学演習	2	6	Ⅱ－2	Ⅲ－3	Ⅳ－4										
社会探究	社会フィールド	社会生態人類学演習	2	6	Ⅱ－2	Ⅲ－3	Ⅳ－4										
社会探究	社会フィールド	ヨーロッパ地誌研究演習	2	6	Ⅱ－2	Ⅲ－3	Ⅳ－4										
社会探究	社会フィールド	社会フィールド研究特論	2	4	Ⅰ－2												
社会探究	社会フィールド	社会情報メディア論	2	3	Ⅰ－1	Ⅲ－2	Ⅳ－1										
社会探究	社会フィールド	社会情報メディア論演習	2	6	Ⅱ－3	Ⅲ－5	Ⅳ－4										
共通科目	共通科目	自然科学実験法	2	2	Ⅲ－3												
共通科目	共通科目	自然科学実験	2	2	Ⅲ－3												
共通科目	共通科目	英語発音法演習	2	3	Ⅳ－3												
共通科目	共通科目	英語上級聴取法演習	2	3	Ⅳ－3												
共通科目	共通科目	英語会話演習	2	3	Ⅳ－3												
共通科目	共通科目	ドイツ語中級総合演習ⅠA	2	3	Ⅳ－3												
共通科目	共通科目	ドイツ語中級総合演習ⅠB	2	3	Ⅳ－3												
共通科目	共通科目	ドイツ語中級会話演習Ⅰ	2	3	Ⅳ－3												
共通科目	共通科目	フランス語中級総合演習ⅠA	2	3	Ⅳ－3												
共通科目	共通科目	フランス語中級総合演習ⅠB	2	3	Ⅳ－3												
共通科目	共通科目	フランス語中級会話演習Ⅰ	2	3	Ⅳ－3												
共通科目	共通科目	中国語作文演習Ⅰ	2	3	Ⅳ－3												
共通科目	共通科目	中国語聴取法演習Ⅰ	2	3	Ⅳ－3												
共通科目	共通科目	中国語会話演習Ⅰ	2	3	Ⅳ－3												
共通科目	共通科目	時事ドイツ語演習	2	4	Ⅳ－3												
共通科目	共通科目	ドイツ語中級総合演習ⅡA	2	4	Ⅳ－3												
共通科目	共通科目	ドイツ語中級総合演習ⅡB	2	4	Ⅳ－3												
共通科目	共通科目	ドイツ語中級会話演習Ⅱ	2	4	Ⅳ－3												
共通科目	共通科目	フランス語中級総合演習ⅡA	2	4	Ⅳ－3												
共通科目	共通科目	フランス語中級総合演習ⅡB	2	4	Ⅳ－3												
共通科目	共通科目	フランス語中級会話演習Ⅱ	2	4	Ⅳ－3												
共通科目	共通科目	中国語作文演習Ⅱ	2	4	Ⅳ－3												
共通科目	共通科目	中国語聴取法演習Ⅱ	2	4	Ⅳ－3												
共通科目	共通科目	中国語会話演習Ⅱ	2	4	Ⅳ－3												
共通科目	共通科目	英語上級文章法演習	2	5	Ⅱ－2	Ⅲ－3											
共通科目	共通科目	ドイツ語上級読解法演習Ⅰ	2	5	Ⅳ－1												
共通科目	共通科目	ドイツ語上級会話演習Ⅰ	2	5	Ⅳ－3												
共通科目	共通科目	フランス語上級表現法演習	2	5	Ⅳ－3												
共通科目	共通科目	フランス語上級会話演習Ⅰ	2	5	Ⅳ－3												
共通科目	共通科目	中国語読解法演習Ⅰ	2	5	Ⅳ－3												
共通科目	共通科目	中国語会話演習Ⅲ	2	5	Ⅳ－3												
共通科目	共通科目	科学と倫理	2	5	Ⅰ－2	Ⅱ－1											
共通科目	共通科目	対話論演習	2	5	Ⅲ－5	Ⅳ－1	Ⅳ－3	Ⅳ－4									

[illegible]

到達目標評価項目と評価基準の表

○ 知識・理解

評価項目	非常に優れている (Best)	優れている (Modal)	基準に達している (Threshold)	備 考 (適用科目名を記載) ※ () 内は履修セメスター
I-1 各学問領域について、基本的かつ体系的に理解できる	各学問領域について、基本的かつ体系的に理解し、説明できる。	各学問領域について、基本的かつ体系的に理解できる。	各学問領域について、基本的かつ体系的におおよそ理解できる。	別紙 2 および 3 参照
I-2 現代社会の抱える諸問題について、学際的・総合的な知識を蓄積し、理解できる	現代社会の抱える諸問題について、学際的・総合的に理解し、説明できる。	現代社会の抱える諸問題について、学際的・総合的に理解できる。	現代社会の抱える諸問題について、学際的・総合的に、おおよそ理解できる。	別紙 2 および 3 参照
I-3 学際的・総合的アプローチの持つ特徴について理解できる	研究成果を踏まえ、採用した学際的・総合的アプローチの持つ特徴と、その可能性について、十分理解し説明できる。	研究成果を踏まえ、採用した学際的・総合的アプローチの持つ特徴と、その可能性について、十分理解できる。	研究成果を踏まえ、採用した学際的・総合的アプローチの持つ特徴と、その可能性について、おおよそ理解できる。	別紙 2 および 3 参照

○ 知的能力・技能

評価項目	非常に優れている (Best)	優れている (Modal)	基準に達している (Threshold)	備 考 (適用科目名を記載) ※ () 内は履修セメスター
II-1 各学問領域の学術的価値とその背景に関して、理解できる	各学問領域の学術的価値とその背景に関して、十分理解し説明できる。	各学問領域の学術的価値とその背景に関して、十分理解できる。	各学問領域の学術的価値とその背景に関して、おおよそ理解できる。	別紙 2 および 3 参照
II-2 各学問領域に関する文献資料を批判的・分析的に読むことができる	各学問領域に関する文献を十分に批判的・分析的に読むことができる。	各学問領域に関する文献を批判的・分析的に読むことができる。	各学問領域に関する文献をある程度批判的・分析的に読むことができる。	別紙 2 および 3 参照
II-3 データを多様な情報源から収集し、それらの持つ意味や価値をみいだすことができる	データを複数の情報源から収集し、それらを的確に分析し、利用することができる。	データを複数の情報源から収集し、それらをほぼ的確に分析し、利用することができる。	データを複数の情報源から収集し、それらをある程度分析し、利用することができる。	別紙 2 および 3 参照

II-4 課題を解決するために、適切な計画を立案することができる	課題を解決するために、適切な計画を立案することができる。	課題を解決するために、ほぼ適切な計画を立案することができる。	課題を解決するために、おおよそ適切な必要な計画を立案することができる。	別紙2および3参照
II-5 課題を考察するために、適切な理論・方法論を特定できる	課題を考察するために、適切な理論・方法論を特定できる。	課題を考察するために、ほぼ適切な理論・方法論を特定できる。	課題を考察するために、おおよそ適切な理論・方法論を特定できる。	別紙2および3参照
II-6 得られた成果を記述し、報告する方法を工夫できる	得られた成果を記述し、報告する方法を創造的に工夫できる。	得られた成果を記述し、報告する方法を工夫できる。	得られた成果を記述し、報告する方法をおおよそ工夫できる。	別紙2および3参照

○ 実践的能力・技能

評価項目	非常に優れている (Best)	優れている (Modal)	基準に達している (Threshold)	備 考 (適用科目名を記載) ※ () 内は履修メジャー
III-1 課題の解決に至る展望を行い、その行程表を提示することができる	課題の解決に至る総合的な展望を行い、その行程表を的確に提示することができる。	課題の解決に至る展望を行い、その行程表をほぼ的確に提示することができる。	課題の解決に至る展望を行い、その行程表をある程度提示することができる。	別紙2および3参照
III-2 課題に関する文献資料などの情報を計画的・体系的に収集することができる	課題に関する文献資料などの情報を、計画的・体系的に収集することができる。	課題に関する文献資料などの情報を、計画的に収集することができる。	課題に関する文献資料などの情報を収集することができる。	別紙2および3参照
III-3 適切な方法でデータを収集し、それらを整理・分析することができる	適切で効率的な方法でデータを収集し、それらを的確に整理・分析することができる。	適切な方法でデータを収集し、それらをほぼ的確に整理・分析することができる。	データを収集し、それらをある程度整理・分析することができる。	別紙2および3参照
III-4 課題を解決するために立案した計画を点検し、改善することができる	課題を解決するために立案した計画を的確に点検・改善することができる。	課題を解決するために立案した計画をほぼ的確に点検・改善することができる。	課題を解決するために立案した計画をある程度点検・改善することができる。	別紙2および3参照
III-5 課題を考察するために採用した理論・方法論を実践することができる	課題を考察するために採用した理論・方法論を、的確に実践することができる。	課題を考察するために採用した理論・方法論を、ほぼ的確に実践することができる。	課題を考察するために採用した理論・方法論を、ある程度実践することができる。	別紙2および3参照
III-6 得られた成果とその到達点を、記述し、報告することができる	得られた成果とその到達点を、的確に記述し、報告することができる。	得られた成果とその到達点を、ほぼ的確に記述し、報告することができる。	得られた成果とその到達点を、ある程度の確に記述し、報告することができる。	別紙2および3参照

○ 総合的能力・技能

評価項目	非常に優れている (Best)	優れている (Modal)	基準に達している (Threshold)	備 考 (適用科目名を記載) ※ () 内は履修セマスター
IV-1 問題発見および解決能力	・現代社会が抱える諸課題を学際的・総合的観点から把握し、問題の発見、分析、解決への方策立案ができる。 ・複合的問題に対するアプローチの観点を適切に見抜くことができる。 ・設定した諸課題に影響するミクロからマクロレベルに至る空間的要因と時間的要因を、学際的・総合的に把握できる。	・現代社会が抱える諸課題を正しく把握し、問題の発見、分析、解決への方策立案ができる。 ・複合的問題に対するアプローチの観点を見抜くことができる。 ・設定した諸課題に影響するミクロからマクロレベルに至る空間的要因と時間的要因を、適切に把握できる。	・現代社会が抱える諸課題をおおよそ把握し、問題の発見、分析、解決への方策をある程度立案できる。 ・複合的問題に対するアプローチの観点をある程度見抜くことができる。 ・設定した諸課題に影響するミクロからマクロレベルに至る空間的要因と時間的要因を、ある程度把握できる。	別紙2および3参照
IV-2 研究能力	・研究を行ううえでの情報収集を、適切に行うことができる。 ・適切な研究計画を自律的に立てることができる。 ・研究を進めるうえで適切な時間的配分ができ、限られた時間で質的に高い成果を上げることができる。	・研究を行ううえでの情報収集を、ほぼ適切に行うことができる。 ・ほぼ適切な研究計画を自律的に立てることができる。 ・研究を進めるうえで適切な時間的配分ができ、限られた時間内で課題を完了できる。	・研究を行ううえでの情報収集を、ある程度行うことができる。 ・研究計画を自律的に立てることができる。 ・限られた時間内で、課題をおおよそ完了できる。	別紙2および3参照
IV-3 コミュニケーション能力	・ゼミや研究会、学会等で、他の人の意見を十分に理解し、的確にまとめることができる。 ・自分の考えを簡潔かつ論理的にまとめ、相手に正確に伝えることができる。	・ゼミや研究会で、他の人の意見を理解し、ほぼ的確にまとめることができる。 ・自分の考えをまとめ、相手に伝えることができる。 ・研究課題について、ほぼ適切な討論ができる。	・ゼミや研究会で、他の人の意見を理解し、ある程度まとめることができる。 ・自分の考えをおおよそまとめ、相手に伝えることができる。 ・研究課題について、ある程度討論	別紙2および3参照

	・研究課題について、高度な討論ができる。		ができる。	
IV-4 情報収集能力およびプレゼンテーション能力	・多様な文献資料あるいはデータベースを効果的に利用できる。 ・課題や成果のプレゼンテーションを、論理的かつ効果的に行うことができる。	・多様な文献資料あるいはデータベースをほぼ適切に利用できる。 ・課題や成果のプレゼンテーションを効果的に行うことができる。	・文献資料やデータベースをある程度利用できる。 ・課題や成果のプレゼンテーションを行うことができる	別紙2および3参照
IV-5 研究倫理の理解と実践	・研究倫理を十分に理解し、説明することができる。	・研究倫理を十分に理解できる。	・研究倫理を理解できる。	別紙2および3参照

担当教員名	担当授業科目	研究室	E-MAIL アドレス
阿賀岡 芳夫	数理幾何	C811	agaoka@mis.hiroshima-u.ac.jp
	グラフの幾何学		
阿部 誠	微分方程式	C812	mabe@mis.hiroshima-u.ac.jp
安仁屋 宗正	英語発音法演習	A305	aniya@hiroshima-u.ac.jp
	言語学入門		
荒見 泰史	中国伝統文化論	A406	arami@hiroshima-u.ac.jp
	中国伝統文化論演習		
秋葉 節夫	動態社会学	A712	sakiba6418@hiroshima-u.ac.jp
	調査データで読む現代社会		
	動態社会学演習		
青木 利夫	欧米大陸間文化研究	A518	atoshi@hiroshima-u.ac.jp
	南北アメリカ社会文化研究演習		
青木 孝夫	芸術文化論	A716	aokit@hiroshima-u.ac.jp
	美学芸術学演習		
浅野 敏久	日本環境地誌	A512	toasano@hiroshima-u.ac.jp
	日本地誌研究演習		
伊藤 隆夫	物理化学	C221	titoh@hiroshima-u.ac.jp
	物質科学実験C		
	物質科学実験法C		
井口 容子	フランス語上級表現法演習	A523	yiguchi@hiroshima-u.ac.jp
	フランス語中級総合演習ⅠB		
	フランス語中級総合演習ⅡB		
	現代フランス語学研究演習		
	現代フランス語学研究		
石井 亮	数理代数	C814	akira141@hiroshima-u.ac.jp
井上 永幸	英語コーパス言語学	A419	inouen@hiroshima-u.ac.jp
	現代英語語法演習		
乾 雅祝	物性物理学Ⅰ	B210	inui@mis.hiroshima-u.ac.jp
	物理科学特論A		
	物理科学特論B		
	物理科学特論C		
	物理科学特論D		
	物質科学実験A		
	物質科学実験法A		
岩永 誠	リスク研究	A217	miwanaga@hiroshima-u.ac.jp
	適応心理学		
	ストレス科学		
	行動科学実験法D		
	行動科学実験D		
	行動科学基礎実験		
	行動科学基礎実験法		
岩谷 彩子	移動の人類学	A424	ayakoi@hiroshima-u.ac.jp
	移動の人類学演習		
市橋 勝	開発経済政策論	A815	ichi@hiroshima-u.ac.jp
	開発政策科学分析演習		
市川 浩	現代技術論演習	A805	ichikawa@hiroshima-u.ac.jp
	比較技術史		
	公害史		
石坂 智	物理学基礎実験	C113	ishizaka@hiroshima-u.ac.jp
	物理学基礎実験法		
	物理科学概論		
石川 雅隆	ロマンス語研究Ⅰ	A420	ishkwammgb@hiroshima-u.ac.jp
	ロマンス語研究Ⅱ		
石田 敦彦	生物物理化学	B314	aishida@hiroshima-u.ac.jp
飯間 信	複素解析	C815	makoto@mis.hiroshima-u.ac.jp
李 東碩	世界開発論	A818	dslee@hiroshima-u.ac.jp
	世界開発論演習		
	環境経済論		
宇田川 眞行	電磁気学Ⅰ	C119	udagawa@hiroshima-u.ac.jp

担当教員名	担当授業科目	研究室	E-MAIL アドレス
浮穴 和義	細胞生物学	B403	ukena@hiroshima-u. ac. jp
	脳機能学		
	生命科学実験B		
	生命科学実験法B		
浴野 稔一	電磁気学Ⅱ	B213	ekino@hiroshima-u. ac. jp
隠岐 さや香	サイエンス・スタディーズ演習	C522	soki@hiroshima-u. ac. jp
	サイエンス・スタディーズ		
奥田 敏統	多様性生態学	C420	okuda-tempat@hiroshima-u. ac. jp
岡本 勝	アメリカ社会研究	A624	mokamo@hiroshima-u. ac. jp
	アメリカ社会研究演習		
荻田 典男	物性物理学Ⅱ	C116	nogita@hiroshima-u. ac. jp
	物質科学実験D		
	物質科学実験法D		
小川 景子	認知神経科学	A227	ogawakeicom@hiroshima-u. ac. jp
小川 泰生	中国語聴取法演習Ⅰ	A525	ogawaya@hiroshima-u. ac. jp
	中国語聴取法演習Ⅱ		
	対照言語学演習B		
小野寺 真一	第四紀環境学	C612	sonodera@hiroshima-u. ac. jp
小澤 久	大気科学	C523	hozawa@hiroshima-u. ac. jp
大池真知子	ジェンダー学	A409	ooike@hiroshima-u. ac. jp
	ジェンダー学演習		
海堀 正博	砂防学	C515	kaibori@hiroshima-u. ac. jp
	地学基礎実験		
	地学基礎実験法		
開発 一郎	水循環論	C515	kaihotu@hiroshima-u. ac. jp
檜原 修	近代日本文化研究	A514	kasihara@hiroshima-u. ac. jp
	近代日本文化研究演習		
鎌田 勇	メディア・スタディーズ	A416	ikamada@hiroshima-u. ac. jp
	異文化コミュニケーション論入門		
要田 圭治	都市文化論	A425	kanameda@hiroshima-u. ac. jp
	都市文化論演習		
河村 尚明	数理科学演習	C813	hisa@hiroshima-u. ac. jp
城戸 光世	英米文学研究	A411	kido@hiroshima-u. ac. jp
	英米文学演習		
木庭 康樹	スポーツ健康科学演習A	A120	kiniwa@hiroshima-u. ac. jp
久我 ゆかり	環境微生物学	C422	ykuga@hiroshima-u. ac. jp
栗田 多喜夫	データ解析序説	C716	tkurita@hiroshima-u. ac. jp
	応用統計学		
桑島 秀樹	文化創造論	A724	kuwajima@hiroshima-u. ac. jp
	表象文化論演習		
	美学芸術学入門		
	芸術文化論演習		
日下部 眞一	ボランティア社会学	C421	sakusa@hiroshima-u. ac. jp
	進化遺伝学		
近藤 武敏	ヨーロッパ哲学思想研究	A622	kondotk@hiroshima-u. ac. jp
	ヨーロッパ哲学思想研究演習		
古東 哲明	現代思想	A717	kotetu@hiroshima-u. ac. jp
	比較哲学A		
	現代思想演習		
	比較哲学演習		
小池 聖一	文書管理論	A812	koikes@hiroshima-u. ac. jp
	文書管理論演習		
佐久川 弘	地球環境化学	B506	hsakuga@hiroshima-u. ac. jp
佐々木 宏	福祉社会学	A710	hsasaki@hiroshima-u. ac. jp
	福祉社会学演習		
佐竹 昭	日本文化史	A513	asa@hiroshima-u. ac. jp
	日本文化史演習		
佐藤 高晴	自然科学実験法・同実験	C503	staka@hiroshima-u. ac. jp
	地球環境変動論		
佐藤 明子	分子生理学	B411	aksatoh@hiroshima-u. ac. jp
佐野 眞理子	解釈人類学	A627	msano@hiroshima-u. ac. jp
	解釈人類学演習		
	アクセシビリティ科学		

担当教員名	担当授業科目	研究室	E-MAIL アドレス
材木 和雄	社会学方法論	A711	zaiki@hiroshima-u.ac.jp
	社会学方法論演習		
坂田 桐子	社会心理学	A221	kirokos@hiroshima-u.ac.jp
	集団力学		
	行動科学実験B		
	行動科学外書演習		
	行動科学実験法B		
	行動科学外書特別演習		
坂田 省吾	生物心理学	A228	ssakata@hiroshima-u.ac.jp
	生理心理学		
	行動科学演習		
斉藤 祐見子	脳科学	C319	yumist@hiroshima-u.ac.jp
	基礎細胞生物学		
	生命科学実験D		
	生命科学実験法D		
崔 真碩	東アジア文化論	A520	jinsoku@hiroshima-u.ac.jp
	東アジア文化論演習		
櫻井 直樹	植物環境生理学	C424	nsakura@hiroshima-u.ac.jp
シュラルプ, ハンス ミヒャエル	現代ドイツ事情	A326	schlarb@hiroshima-u.ac.jp
	ドイツ語文章法演習		
	ドイツ語中級総合演習ⅠA		
	ドイツ語中級総合演習ⅡA		
	ドイツ語中級総合演習ⅠB		
	ドイツ語中級総合演習ⅡB		
澁谷 一博	グラフの幾何学	C819	shibuya@hiroshima-u.ac.jp
柴田 美紀	英語上級聴取法演習	A418	shibatam@hiroshima-u.ac.jp
	第二言語習得論		
島谷 謙	芸術社会論	A316	shima@hiroshima-u.ac.jp
	現代文化論演習		
スケーア, ピーターマッコール	英語会話演習	A327	skaerpeterm@hiroshima-u.ac.jp
	音声学・音韻論		
	英語ディベート演習		
杉浦 義典	パーソナリティ論	A216	ysugiura@hiroshima-u.ac.jp
	行動科学実習		
関矢 寛史	スポーツ心理学	A112	hsekiya@hiroshima-u.ac.jp
高橋 憲雄	ギリシア哲学	A718	koro@hiroshima-u.ac.jp
	ギリシア哲学演習		
	計算数学		
高谷 紀夫	宗教社会人類学	A613	takatan@hiroshima-u.ac.jp
	宗教社会人類学演習		
谷本 秀康	英日同時通訳法演習Ⅰ	A329	hideyasu@hiroshima-u.ac.jp
	英日同時通訳法演習Ⅱ		
竹田 一彦	環境分析化学	B507	takedaq@hiroshima-u.ac.jp
田原 光広	イギリス社会思想研究	A623	mtahara@hiroshima-u.ac.jp
	イギリス社会思想研究演習		
田口 健	複雑液体・ソフトマター論	B212	ktaguchi@hiroshima-u.ac.jp
	物理科学演習Ⅱ		
田中 暁	ドイツ文化論	A321	tnak6872st@hiroshima-u.ac.jp
	ドイツ文化論演習		
	ドイツ語上級読解法演習Ⅱ		
田中 晋平	物理科学英語演習	C117	shinpei@hiroshima-u.ac.jp
	物理科学演習Ⅰ		
武田 紀子	比較文化論演習	A719	takeda@hiroshima-u.ac.jp
	比較文学研究		
辻 学	聖書学	A817	tsujim@hiroshima-u.ac.jp
	聖書学演習		
戸田 求	環境影響評価論	C413	todam@hiroshima-u.ac.jp
戸田 昭彦	熱力学	B204	atoda@hiroshima-u.ac.jp
トレンソン, スティーブン フランシーヌ ヘルウィック	比較思想	A715	st-trenson@hiroshima-u.ac.jp
	比較思想演習		
中越 信和	景観生態学	C401	nobu@hiroshima-u.ac.jp
中坂 恵美子	現代国際法論	A816	enaka@hiroshima-u.ac.jp
	現代国際法論演習		

担当教員名	担当授業科目	研究室	E-MAIL アドレス
中坪 孝之	環境とエコロジー	C402	kuyakat@hiroshima-u.ac.jp
長坂 格	社会生態人類学	A611	nagasaka@hiroshima-u.ac.jp
	社会生態人類学演習		
長田 浩彰	ヨーロッパ史研究	A618	hnbrd@hiroshima-u.ac.jp
	ヨーロッパ史研究演習		
	地域を科学するA		
	地域を科学するB		
西 佳代	環境と平和論	A626	ikekayo@hiroshima-u.ac.jp
	環境と平和論演習		
西村 雄郎	地域社会学	A713	nisimura@hiroshima-u.ac.jp
	社会調査データ分析の基礎		
	地域社会学演習		
入戸野 宏	情報処理心理学	A125	nittono@hiroshima-u.ac.jp
	行動科学統計演習		
	行動科学実験A		
	行動科学実験法A		
布川 弘	都市社会史演習	A515	nunokawa@hiroshima-u.ac.jp
	都市社会史		
橋原 孝博	バイオメカニクス	B107	hasihara@hiroshima-u.ac.jp
原田 耕一	コンピュータ基礎論	C714	harada@mis.hiroshima-u.ac.jp
	コンピュータシステム		
早瀬 光司	環境人間総合科学	B505	kojihayase@hiroshima-u.ac.jp
長谷川 博	環境運動生理学	B105	hasehiro@hiroshima-u.ac.jp
畠中 憲之	量子情報論	C218	noriyuki@hiroshima-u.ac.jp
	量子力学Ⅰ		
林 光緒	睡眠心理学	A226	mhayasi@hiroshima-u.ac.jp
東谷 誠二	量子力学Ⅱ	C212	seiji@minerva.ias@hiroshima-u.ac.jp
	量子力学演習Ⅱ		
匹田 篤	社会情報メディア論	A825	hikita@hiroshima-u.ac.jp
	社会情報メディア演習		
平手 友彦	フランス文明論	A521	hirate@hiroshima-u.ac.jp
	テキスト文化論		
	フランス語中級総合演習ⅠA		
	フランス語中級総合演習ⅡA		
	フランス語上級読解法演習		
ヴィレヌーブ マスミ ミシェル	環境コロイド学	C522	mville@hiroshima-u.ac.jp
フンク, カロリン・E. H	ヨーロッパ環境地誌	A726	funckc@hiroshima-u.ac.jp
	ヨーロッパ地誌研究演習		
古川 康雄	神経行動学	C310	yasfuru@hiroshima-u.ac.jp
	臨海実習・同講義		
	生命科学実験A		
	生命科学実験法A		
船瀬 広三	身体運動制御学	A118	funase@hiroshima-u.ac.jp
福岡 正人	地球資源論	C505	mfukuok@hiroshima-u.ac.jp
堀江 剛	生命倫理学	A714	thorie@hiroshima-u.ac.jp
	生命倫理学演習		
	科学と倫理		
	対話論演習		
丸田 孝志	東アジア社会文化史	A615	tmaruta@hiroshima-u.ac.jp
	東アジア社会文化史演習		
町田 宗鳳	比較文明論	A823	soho@hiroshima-u.ac.jp
	比較文明論演習		
町田 章	認知言語学	A413	akimachida@hiroshima-u.ac.jp
	意味論入門		
的場 いづみ	文化論研究演習	A408	matoba@hiroshima-u.ac.jp
	文化論研究		
宮尾 淳一	メディア活用演習	C720	miyao@hiroshima-u.ac.jp
	情報理論		
	計算機演習		
三木 直大	現代中国文化論	A524	naomiki@hiroshima-u.ac.jp
	現代中国文化論演習		
	中国語読解法演習Ⅰ		
	中国語読解法演習Ⅱ		

担当教員名	担当授業科目	研究室	E-MAIL アドレス
水羽 信男	東アジア地域史	A609	nmizuha@hiroshima-u.ac.jp
	東アジア地域史演習		
磨井 祥夫	身体運動解析学	A114	su@hiroshima-u.ac.jp
	スポーツ健康科学実験法 B		
	スポーツ健康科学実験 B		
向谷 博明	情報統計学	C703	mukaida@hiroshima-u.ac.jp
宗尻 修治	量子力学演習 I	C315	munejiri@hiroshima-u.ac.jp
	物質科学実験 B		
	物質科学実験法 B		
森本 康彦	プログラム技法	C701	morimoto@mis.hiroshima-u.ac.jp
	計算機基礎演習		
	プログラム言語論		
山崎 岳	生化学	B305	takey@hiroshima-u.ac.jp
	基礎生化学		
	生命科学実験 C		
	生命科学実験法 C		
	分子細胞生物学		
山崎 修嗣	現代産業論	A804	yamazaki@hiroshima-u.ac.jp
	現代産業論演習		
山崎 昌廣	健康福祉学	A117	yamasak@hiroshima-u.ac.jp
	スポーツ健康科学実験法 A		
	スポーツ健康科学実験 A		
山田 俊弘	保全生物学	C416	yamada07@hiroshima-u.ac.jp
山田 純	心理言語学	A330	junyamd@hiroshima-u.ac.jp
	実験心理言語学		
於保 幸正	環境地質学	C506	yoho@hiroshima-u.ac.jp
横藤田 誠	現代法政策論演習	A824	m-yokofuji@hiroshima-u.ac.jp
	現代法政策論		
吉村 慎太郎	宗教政治社会論	A612	shinyo@hiroshima-u.ac.jp
	宗教政治社会論演習		
吉田 光演	意味論	A324	mituyos@hiroshima-u.ac.jp
	統語論		
	対照言語学演習 A		
	現代ドイツ語学研究		
	移動と統合の社会学		
レヴィ アルバレス, クロード	教育と権力の社会学	A621	claudio@hiroshima-u.ac.jp
	フランス語中級会話演習 I		
	フランス語中級会話演習 II		
	フランス語上級会話演習 I		
	フランス語上級会話演習 II		
廬 濤	中国語作文演習 I	A562	lutao@hiroshima-u.ac.jp
	中国語作文演習 II		
	語彙論		
	現代中国語学研究		
和崎 淳	根圏の科学	C322	junw@hiroshima-u.ac.jp
和田 正信	筋生理学	A107	wada@hiroshima-u.ac.jp